

横浜市立大学学術情報センター
貴重書月替わり展覧会【オンライン】
バックナンバー

第155回（2024年8月）



しんばんじんこうき
『新板塵劫記』（3巻1冊）

吉田光由(1598-1672) 編

江戸時代 寛文13(1673)年 刊

『塵劫記』は吉田光由(1598-1672)による、寛永4(1627)年初版の中国を源流とする東洋数学を多数の例題やイラストで分かりやすく紹介した算術書である。多くの階層に読まれたとされており、人気を博し版を重ねた。

本書は寛永20(1643)年版とほぼ同じ内容で、吉田光由が没した翌年に発刊された版である。

原典及び作品紹介リーフレットは、学術情報センターにて
公開、配布しています。